

マイタイムライン作成地区別ガイドライン
〈金岡西部地区〉

金岡西部地区について

沼津市の北端に位置し、国道1号をはさんだ北部は急傾斜地が多く、土砂災害への警戒が必要です。

一方で地区の南部は、新中川が増水したときに甚大な被害が想定されています。

河道拡幅などの河川改修を行った平成5年以降、新中川周辺で大きな水害はありませんが、愛鷹山の南から流れる複数の河川が合流しているため、地区周辺だけでなく、山間部の気象状況にも注意する必要があります。

1 該当する単位自治会

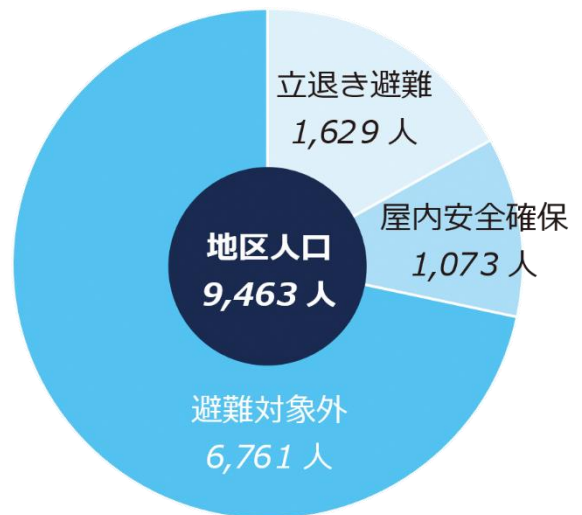
東沢田、中沢田、西沢田、長塚町、西沢田緑ヶ丘、大林、新沢田町、駿河台、ウイスティリア沢田

2 地区内で洪水浸水を及ぼす河川

新中川

3 地区周辺の雨量

- 令和元年10月台風19号
193.5mm (10/11~12日)
- 令和3年7月豪雨
335.5mm (7/1~3日)
- 令和3年9月豪雨
145.0mm (9/1~2日)



図：地区の避難人口の割合

4 地区の避難人口と指定緊急避難場所

地区内の避難人口は、立退き避難が1,629人、屋内安全確保が1,073人、合計2,702人となっています。金岡西部地区の人口は約9,463人のため、約3割の方が立ち退き避難又は屋内安全確保が必要な状況です。

指定緊急避難場所として金岡小学校（金岡地区センター）を指定しています。市が避難情報を発令したときは、金岡小学校を避難場所として開設します。

自主避難者がいたり、金岡小学校だけでは避難者を受け入れられないときは、沢田小学校を開設します。

避難場所	延べ床面積 (㎡)	※収容人数 (人)
金岡小学校（金岡地区センター）	10,372	2,200
沢田小学校	7,293	1,547

※収容人数は感染症等に配慮しない形での目安

5 洪水地区タイムライン例

地区の南部を新中川が流れており、新中川の水位状況を確認しながら避難の検討を行っていく必要があります。

洪水浸水想定区域における浸水深は1～3m、浸水想定時間は概ね半日となっています（いずれも想定最大規模）。

また、北部の急傾斜地は土砂災害（特別）警戒区域に指定されているため、土砂災害警戒情報や市からの避難情報が発令された場合には速やかに避難が必要です。

水位状況は静岡県サイポスレーダーやテレビのdボタン等から最新の情報を確認できます。

河川名称	警戒	新中川	対応	土砂災害
観測所	レベル	丸子橋水位		
堤防高	5相当	4.1m	自宅が浸水していないならば最新の注意を払って立退き避難 避難行動要支援者がいる場合は2階以上など自宅の高い場所に避難 河川の付近に居住していてすでに付近が浸水している場合は立ち退き避難はしない	土砂災害発生
氾濫危険水位	4相当	2.73m	避難行動要支援者は避難開始 健常者も立退き避難または屋内安全確保により全員が安全な場所へ避難する	土砂災害警戒情報
避難判断水位	3相当	1.8m	連合自治会長は単位自治会長に、必要に応じ公民館や自治会館を避難所に開設するよう依頼 避難行動要支援者は避難を検討 市の避難所が開設された場合は必要に応じ民生委員や防災指導員等と協力し避難行動要支援者に声掛け又は同行避難	大雨警報
氾濫注意水位	2相当	1.8m	情報ツールによる大雨や気象情報等の状況確認開始 非常持ち出し品の準備	大雨警報
水防団待機水位		1.5m	避難行動要支援者は立ち退き避難の準備、2階以上に住居がある人は2階以上へ移動 民生委員や防災指導員と協力し避難行動要支援者への声掛け	

6 地区別カルテ

避難判断水位到達後に避難行動を開始したときは、大半の方が氾濫危険水位到達までに避難行動を完了できない形になります（カルテに示す金岡西部地区の結節点145箇所のうち137箇所が避難困難の赤色を示しています）。狩野川・黄瀬川に比べて川幅が狭

く、堤防高も低いため、増水したときは急速に水位が上昇するおそれがあります。健常者の方はもちろん、川沿いに居住する方や避難行動要支援者の方は避難判断水位到達前に避難を開始する必要があります。

北部の急傾斜地は土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域に指定されている箇所も多いため、付近にお住まいの方は発表される注意報・警報に注視し、早い段階で避難行動を開始する必要があります。

金岡西部地区 地区別洪水避難カルテ 基本情報

避難先：沢田小学校

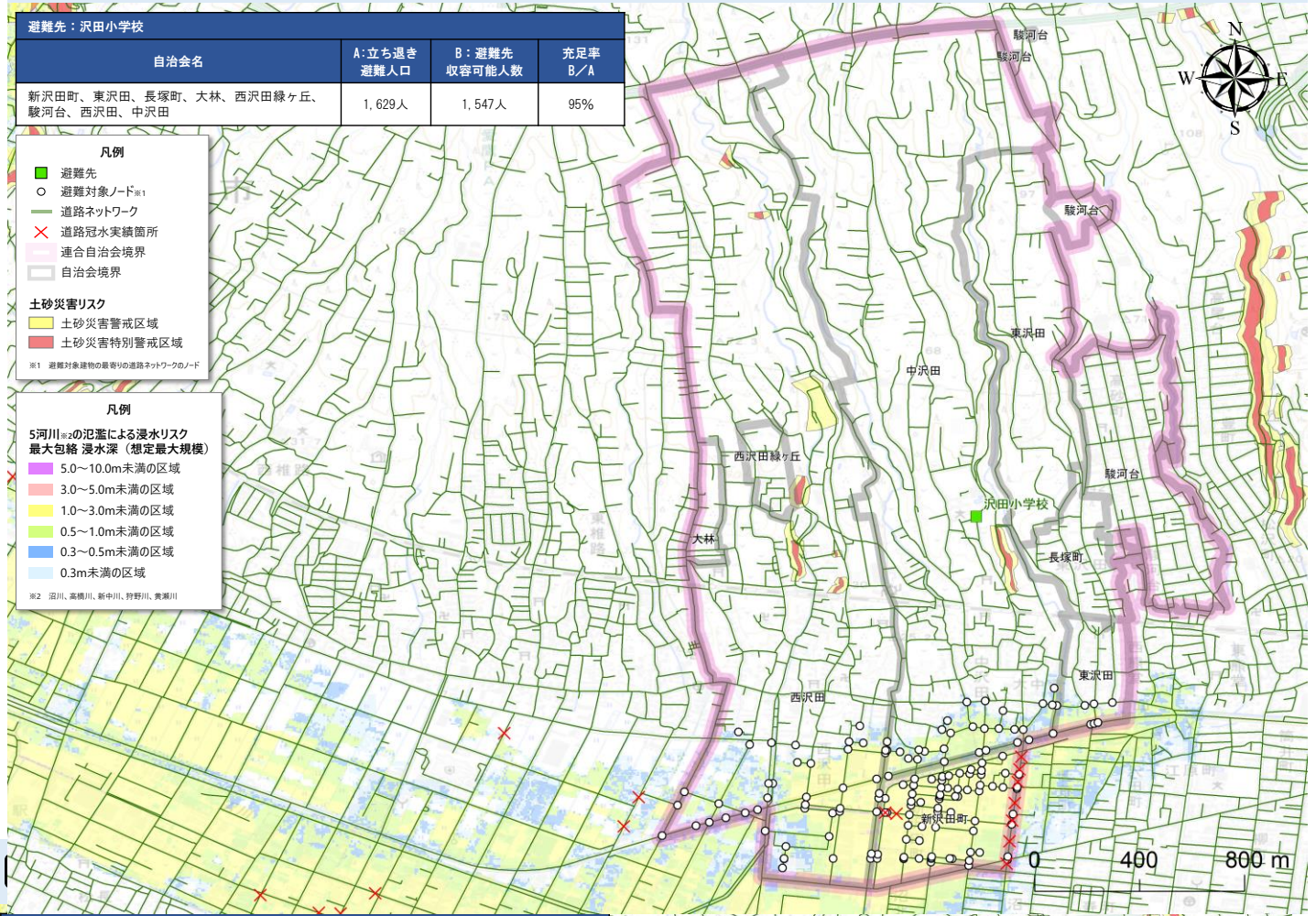
自治会名	A:立ち退き 避難人口	B:避難先 収容可能人数	充足率 B/A
新沢田町、東沢田、長塚町、大林、西沢田緑ヶ丘、駿河台、西沢田、中沢田	1,629人	1,547人	95%

凡例

- 避難先
 - 避難対象ノード※1
 - 道路ネットワーク
 - ✕ 道路冠水実績箇所
 - 連合自治会境界
 - 自治会境界
- 土砂災害リスク**
- 土砂災害警戒区域
 - 土砂災害特別警戒区域
- ※1 避難対象建物の最寄りの道路ネットワークのノード

凡例

- 5河川※2の氾濫による浸水リスク
最大包絡 浸水深（想定最大規模）
- 5.0～10.0m未満の区域
 - 3.0～5.0m未満の区域
 - 1.0～3.0m未満の区域
 - 0.5～1.0m未満の区域
 - 0.3～0.5m未満の区域
 - 0.3m未満の区域
- ※2 沼川、基橋川、新中川、狩野川、黄瀬川



金岡西部地区 地区別洪水避難カルテ 住民避難シミュレーション結果(冠水実績箇所:通行不可)

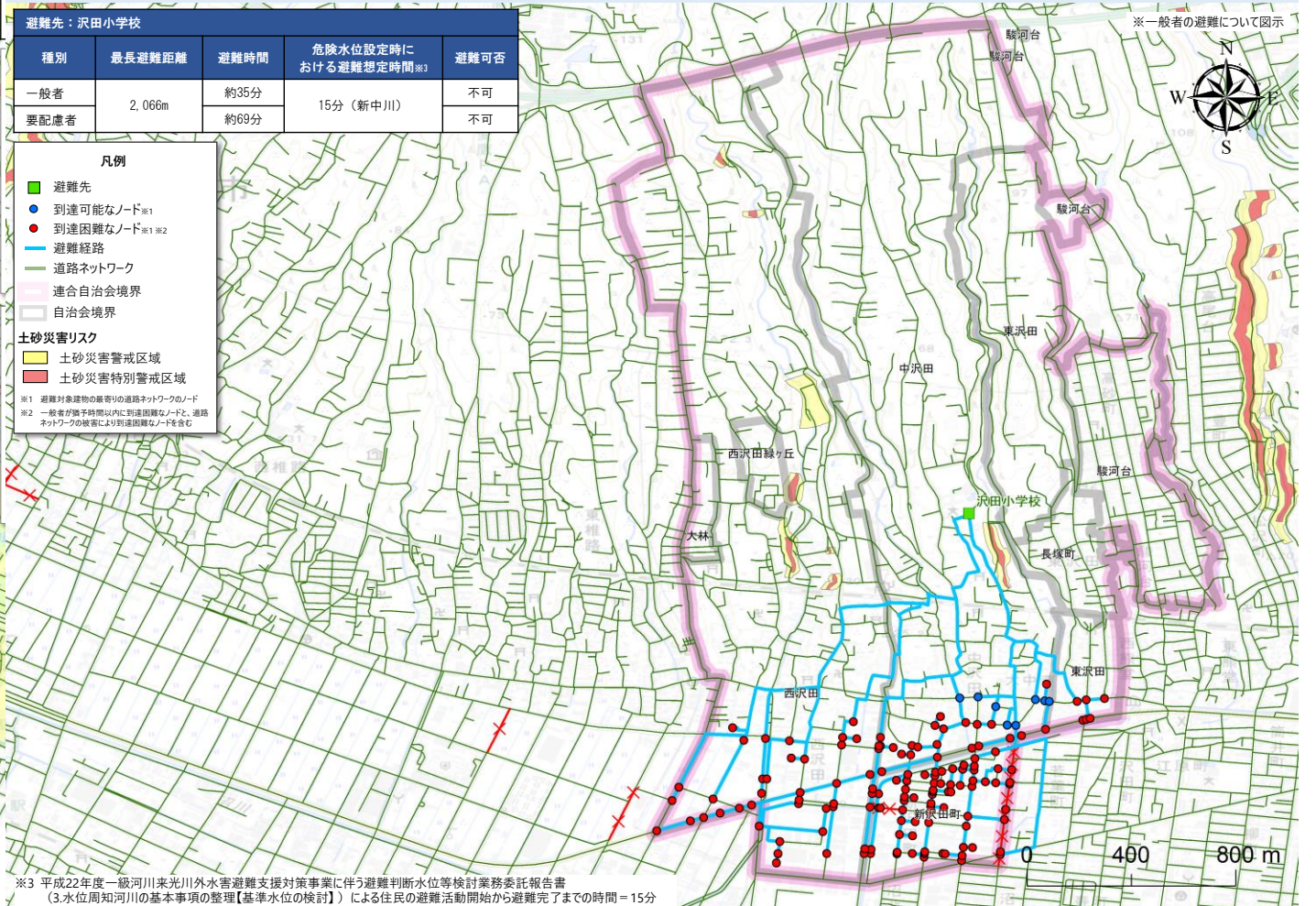
避難先：沢田小学校

種別	最長避難距離	避難時間	危険水位設定時における避難想定時間※3	避難可否
一般者	2,066m	約35分	15分（新中川）	不可
要配慮者		約69分		不可

凡例

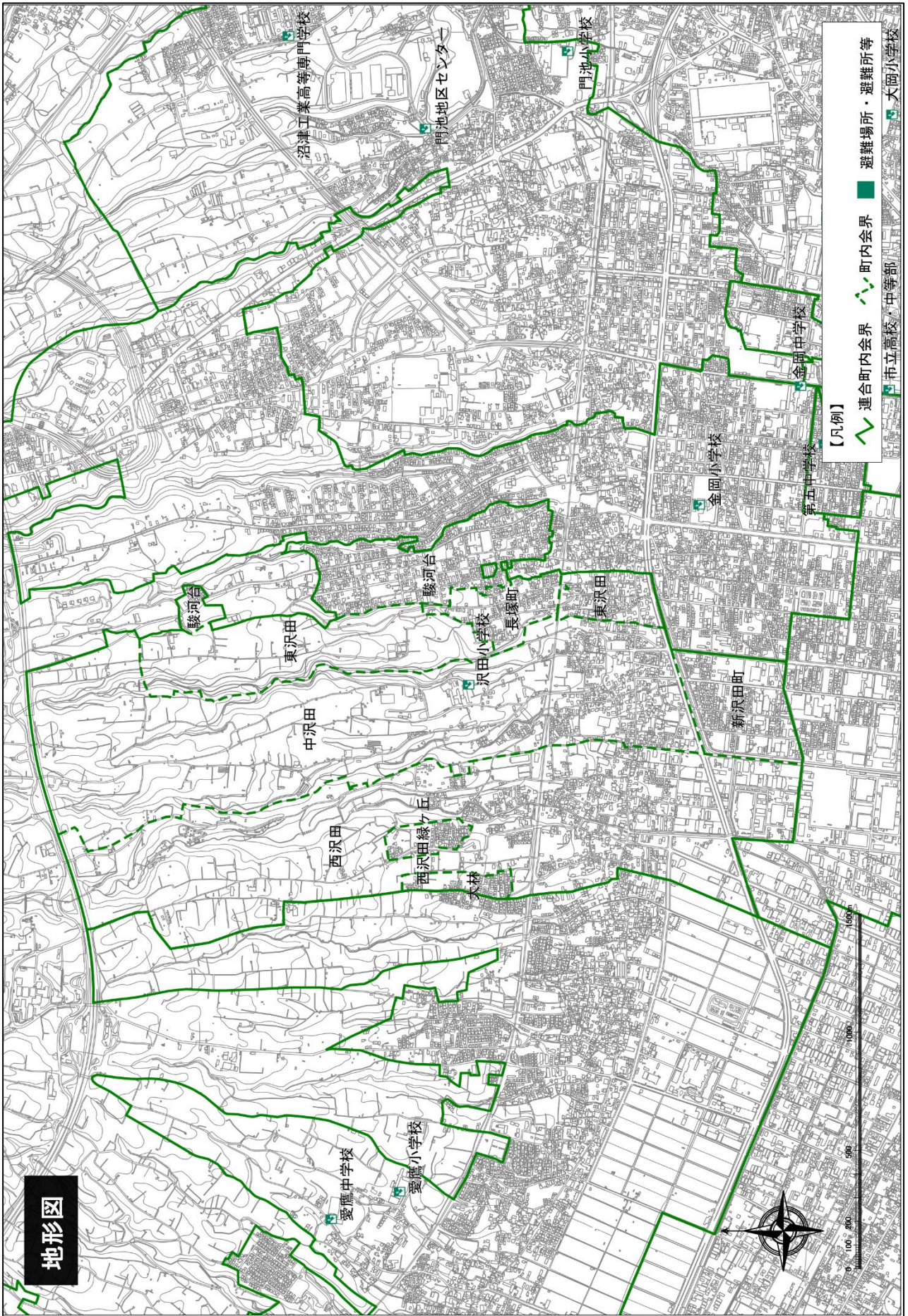
- 避難先
 - 到達可能なノード※1
 - 到達困難なノード※1※2
 - 避難経路
 - 道路ネットワーク
 - 連合自治会境界
 - 自治会境界
- 土砂災害リスク**
- 土砂災害警戒区域
 - 土砂災害特別警戒区域
- ※1 避難対象建物の最寄りの道路ネットワークのノード
 ※2 一般者が等時間以内で到達困難なノードと、道路ネットワークの接続により到達困難なノードを含む

※一般者の避難について図示

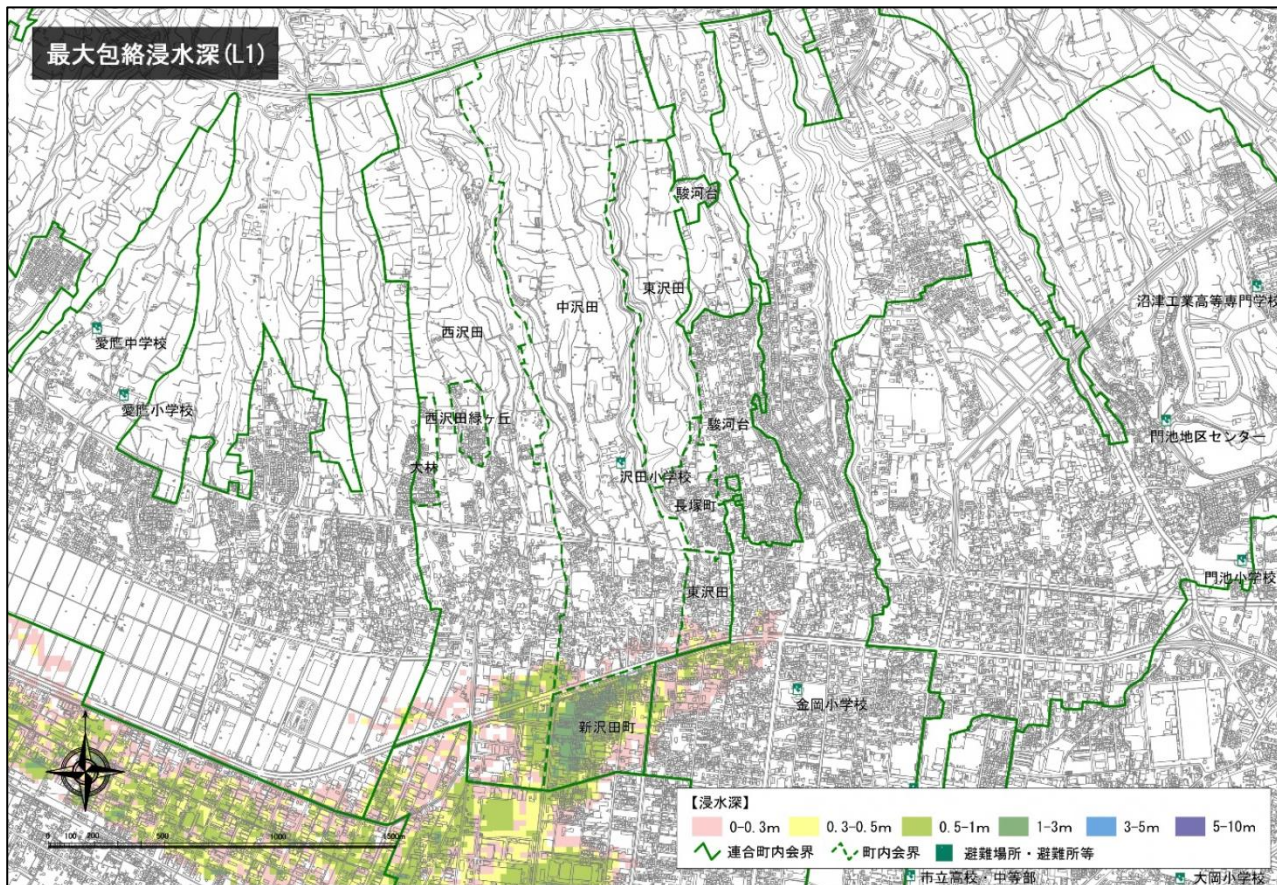
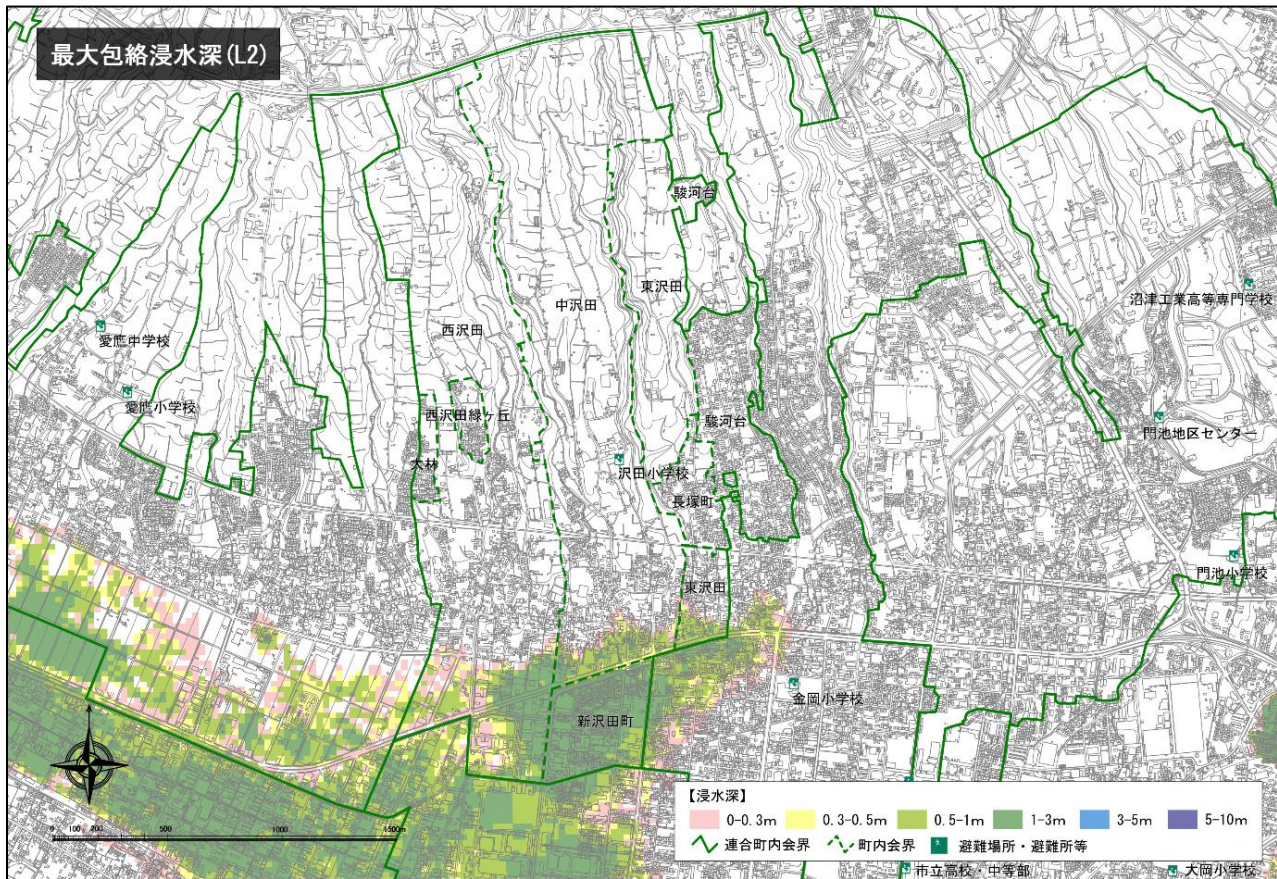


※3 平成22年度一級河川東光川外水害避難支援対策事業に伴う避難判断水位等検討業務委託報告書（3.水位周知河川の基本事項の整理【基準水位の検討】）による住民の避難活動開始から避難完了までの時間=15分

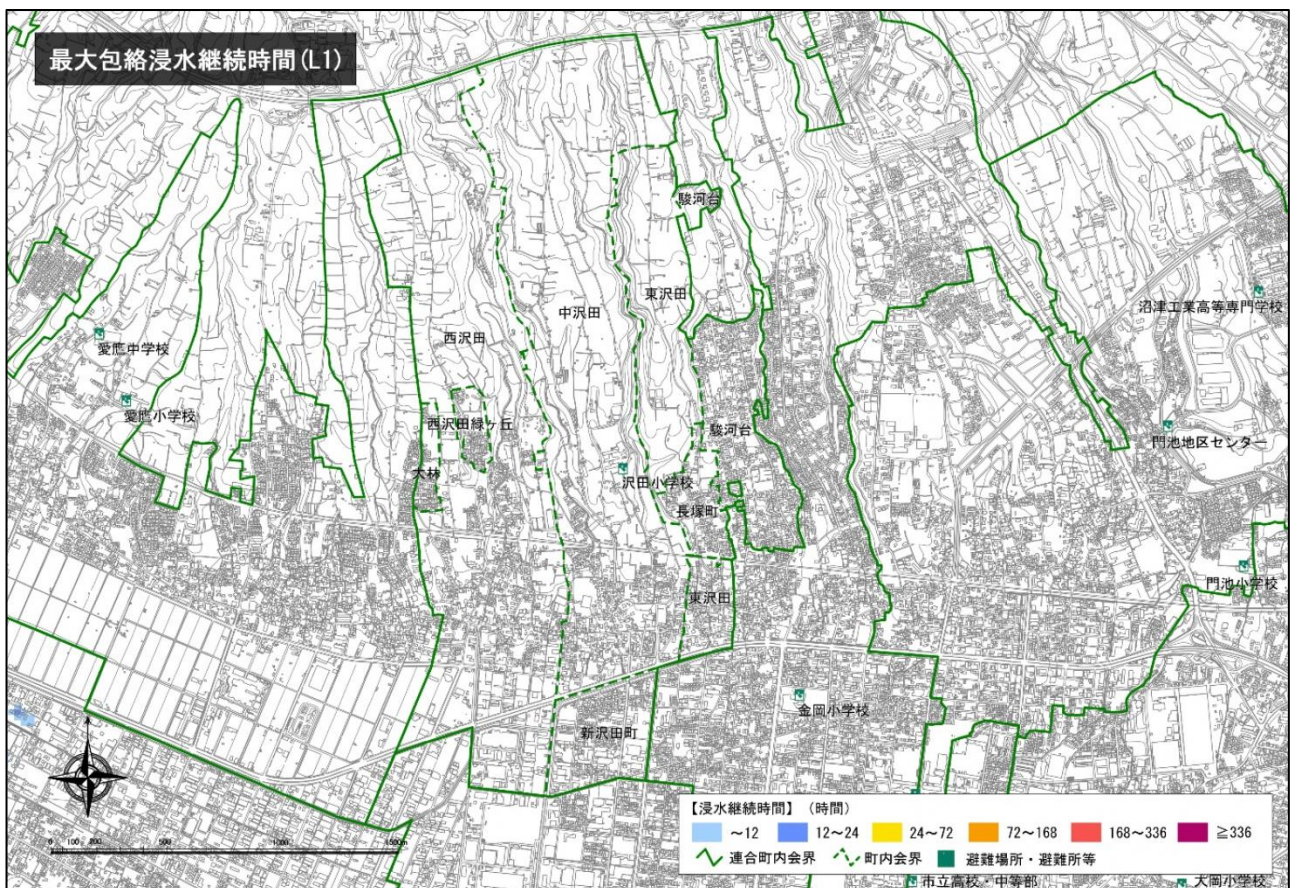
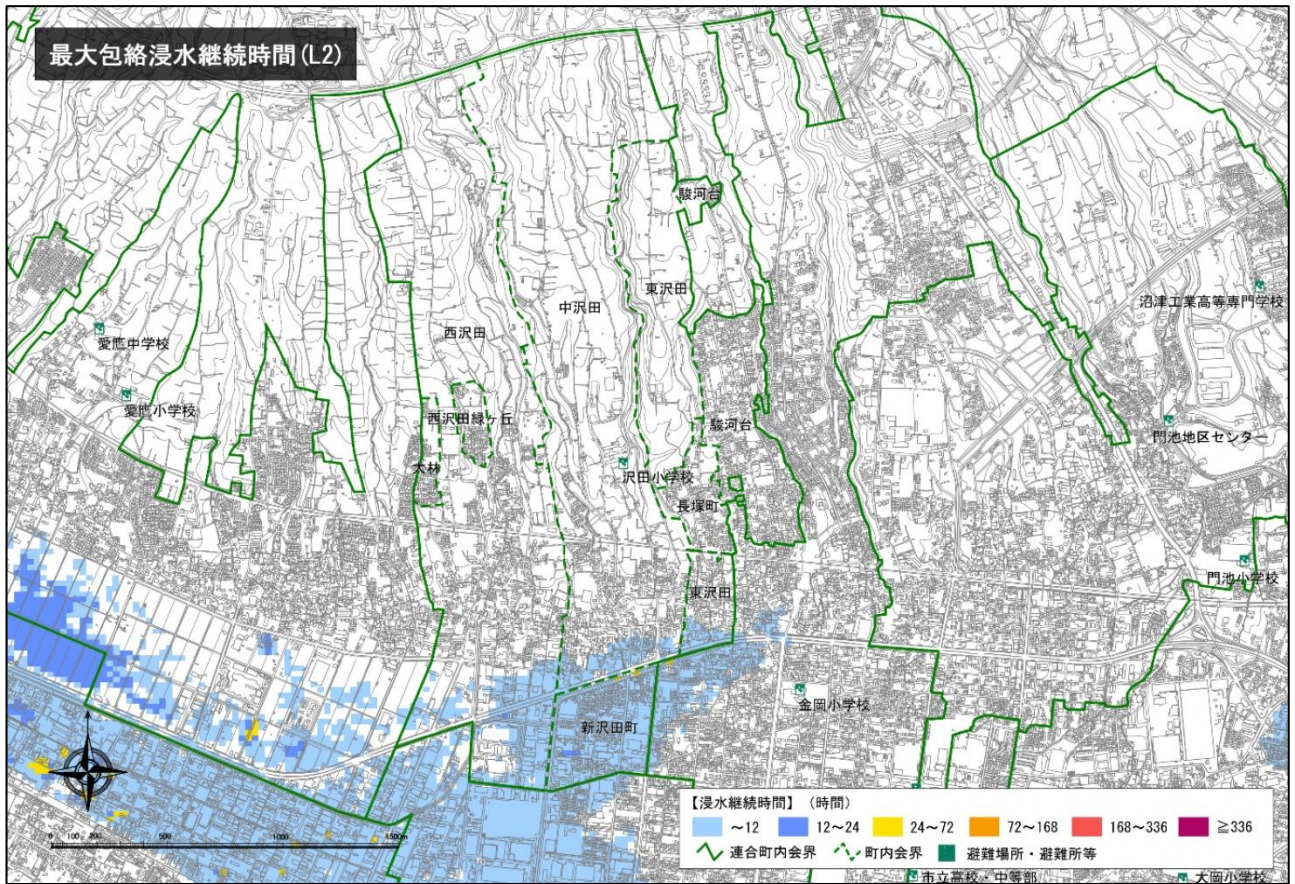
地形図で自宅の位置を確認してみよう



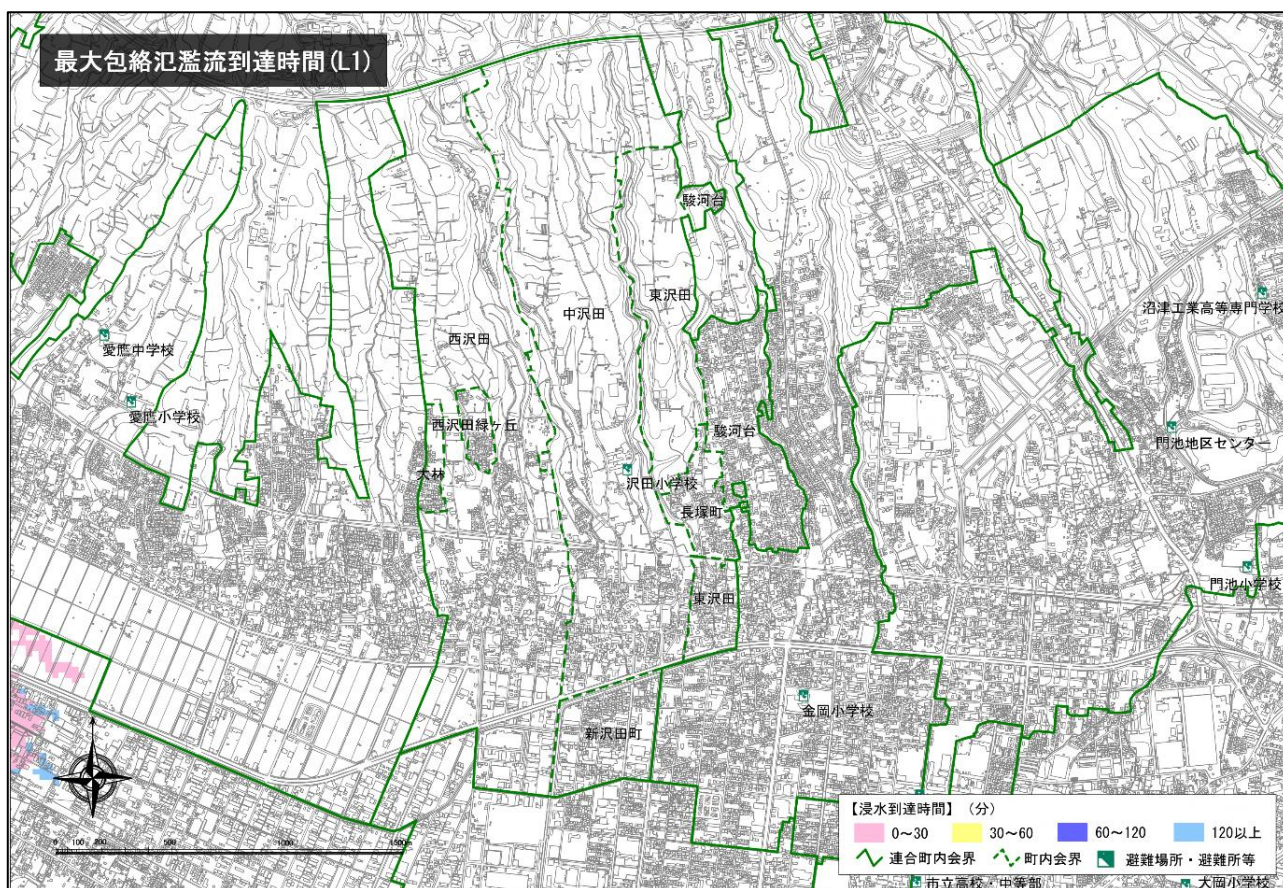
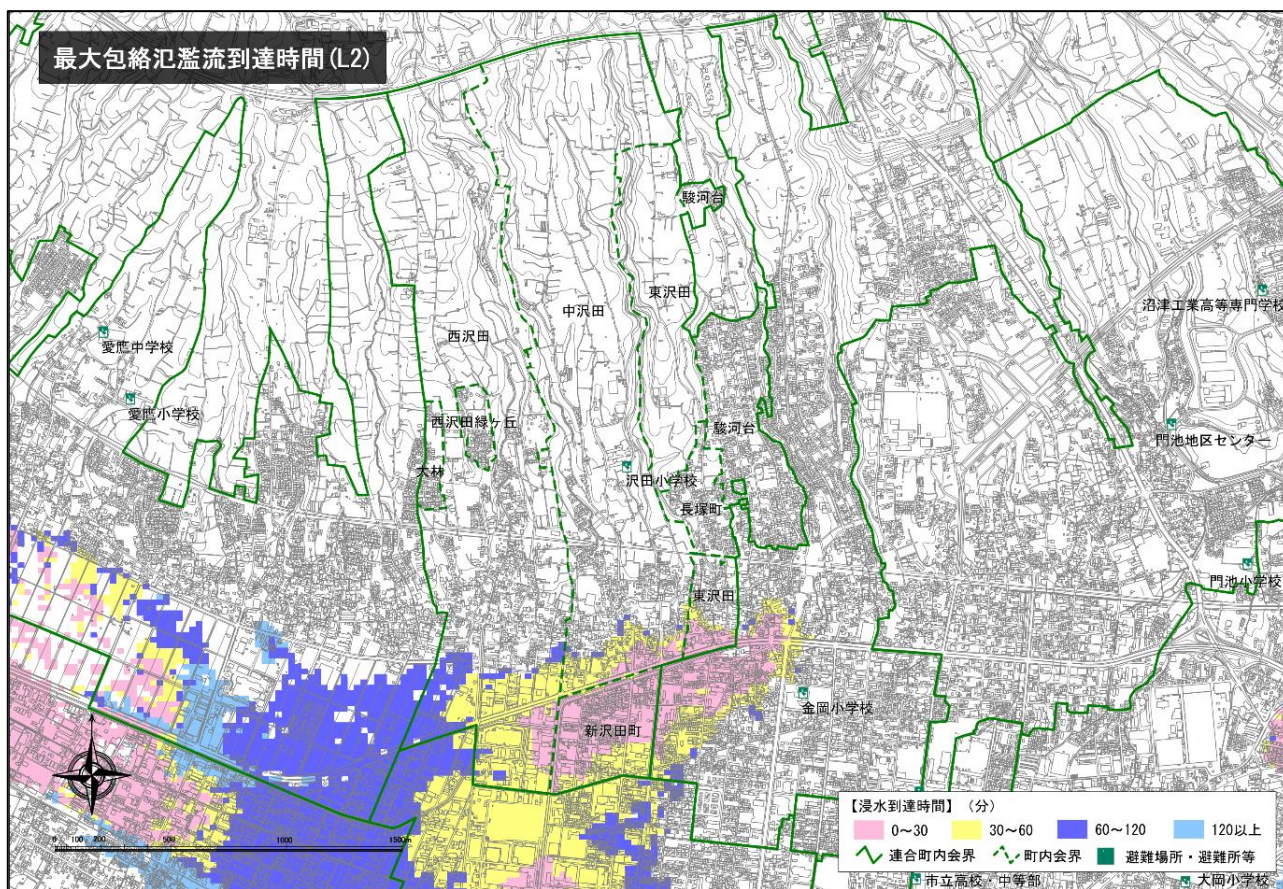
浸水範囲と浸水深を確認してみよう



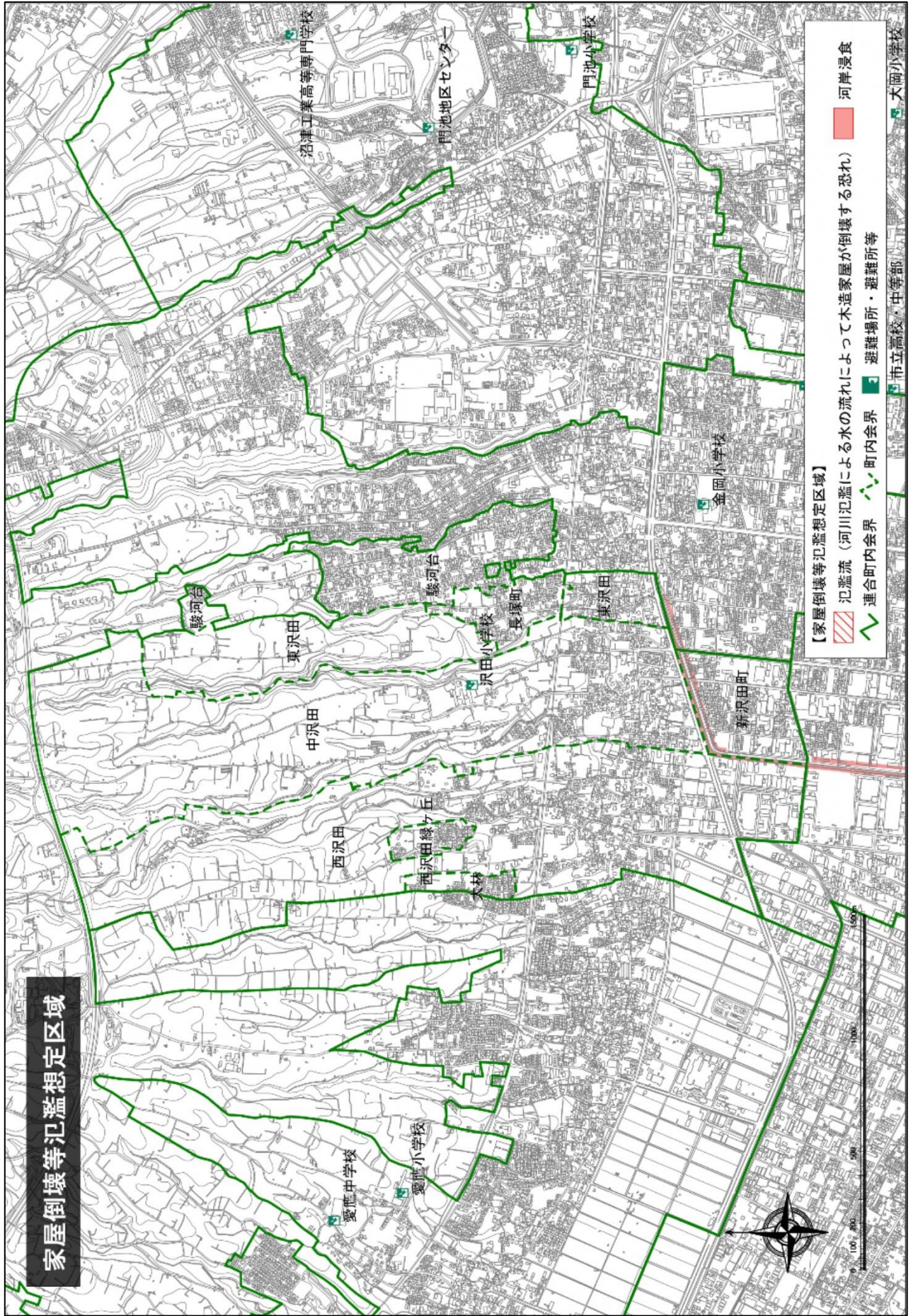
浸水継続時間を確認してみよう



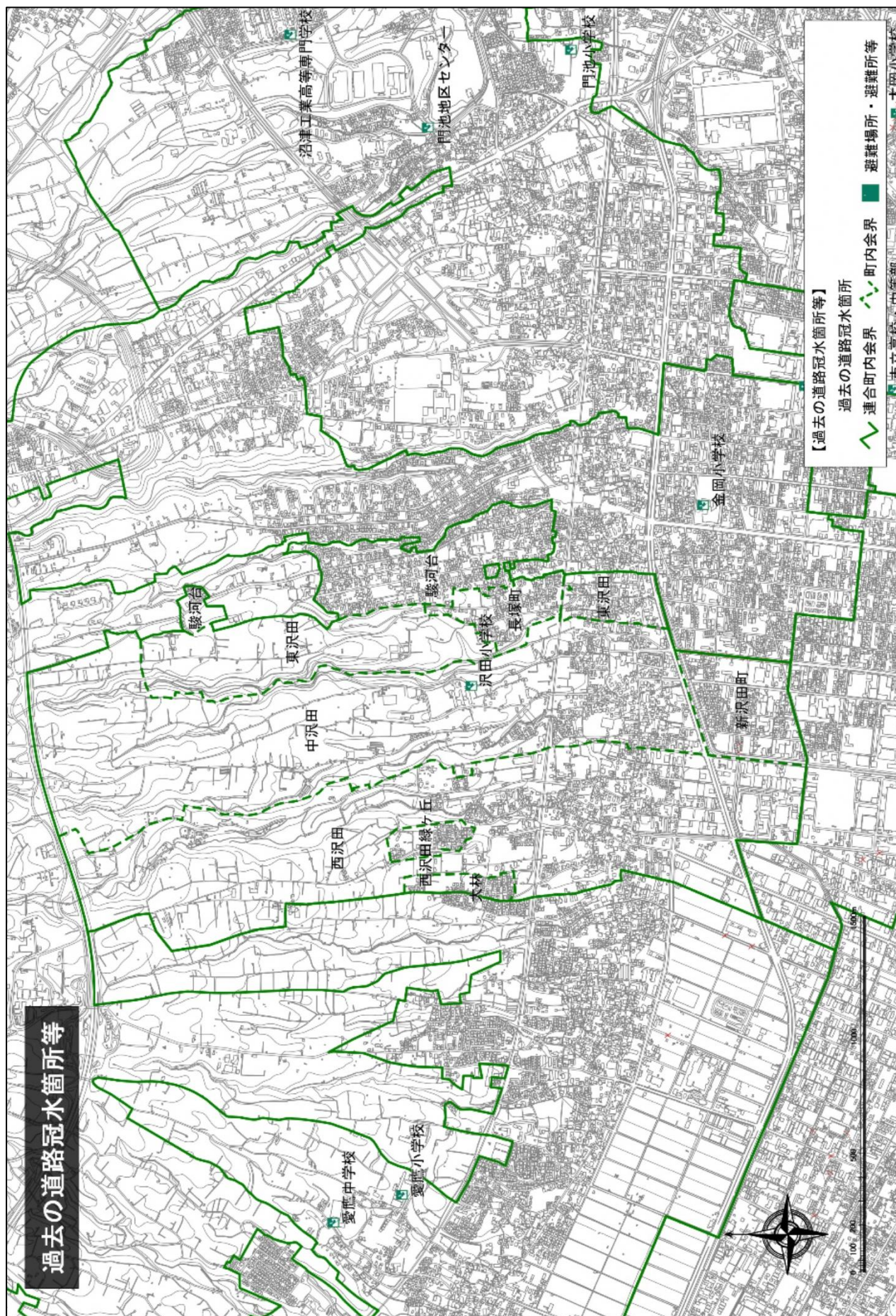
氾濫流到達時間を確認してみよう



家屋倒壊等氾濫想定区域を確認してみよう



過去の浸水箇所を確認してみよう



土砂災害ハザードマップを確認してみよう

